

第12回 福島復興支援ボランティアバスツアー報告

《午前》10:00～11:30 「東日本大震災・原子力災害 伝承館」見学

(福島県双葉郡双葉町大字中野字高田 39)



【生徒コメント】(抜粋)

地震や津波など、災害の恐ろしさをこれからは私たちが次の世代の人にも伝えていき、自分ができていることをしていきたいと感じた。自分が生きている間にまた大きな地震がくるかもしれないと考えるとすごく怖いけど、今日学んだことを忘れずに、避難する場所や避難グッズがどこにあるかを家族と話し合っていきたいと感じた。とてもリアルに知ることができた。

11:30～12:30 「双葉町周辺フィールドワーク」



いまだに帰宅困難地域が一部残る双葉町をフィールドワークパートナーの横田さんとバスで見学。大平山霊園では下車して津波発生時の状況について伺った。

【生徒コメント】(抜粋)

自分の目で実際に被災した町を見てみて、ここに町が本当にあったと思うくらい野原だけが広がっていた。15年前からある建物や、実際に避難した場所や避難経路を見て、災害の恐ろしさと、どんな状況も考えて備えていくことや声を掛け合って避難することの大切さが本当にわかりました。

《午後》13:10～15:50 「とみおかワイナリー」で農作業



【生徒コメント】(抜粋)

物を大切にする、自分の町を信じて活性化させること、新しく始めてみることなど、人々が大切にしていくべきことをやっているととても良いと感じた。